

講義科目 : 社会福祉発達史	単位数 : 2
担当 : 北村 香織	学習形態 : 選択科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

イギリスと日本における社会福祉（思想・政策・事業）の歴史的展開を考察する（特にイギリスを重点的に扱う）。

少子高齢社会という現実、政治においても社会福祉を含む社会保障制度の在り方は大きな争点となっている。この講義では、その現状を的確にとらえ、最善の判断をし、さらに新しい仕組みを創造していく為の基礎的な力と視点を養うことを大きな目標としている。

そのため、随時時事問題も取り入れながら講義を進め、理解を深める。私たちの生活と密接に関わる制度であり取り組みでもある社会福祉の成り立ちや先人のあゆみから、自分たちが生きている社会の特徴及び自身の置かれている社会的状況を知る手がかりをつかんでもらいたい。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション—歴史を学ぶということ
- 第2回 社会福祉の原型（前史）
- 第3回 イギリス：社会変動と労働者立法の成立
- 第4回 イギリス：救貧法の成立過程 —エリザベス救貧法までの道のり
- 第5回 イギリス：貧困の原因は何か —救済の責任はどこに
- 第6回 イギリス：救済基準の設定 —スピーナムランド制度
- 第7回 イギリス：社会調査 —貧困の把握と貧困をみる眼
- 第8回 イギリス：新救貧法成立に影響を与えた思想・著作
- 第9回 イギリス：社会の仕組みと生活 —労働組合の成立（ウエップ夫妻の思想をてがかりに）
- 第10回 イギリス：社会保障制度の成立 —ベバリッジ報告
- 第11回 日本：人物から学ぶ慈善事業
- 第12回 日本：人物から学ぶ社会事業
- 第13回 日本：社会事業の成立から厚生事業へ
- 第14回 日本：50年勸告と社会保障政策の構造
- 第15回 日本：歴史から学ぶ現在の社会福祉政策の特徴

教材・テキスト・参考文献等

テキストは使用しない。資料を毎回配布する。参考文献は講義中に提示。

成績評価方法

定期試験 80%、出席 20%で評価する。

感想提出をもって出席とみなす。

実務経験

障害者支援施設で勤務していたことがあります。実務経験を活かし、歴史の中で起こっていることと現在の実践現場で起こっていることとのつながりをお話しします。

その他

歴史といっても、あまり堅苦しく考えずに受講して下さい。現在につながる歴史を楽しんでもらいながら、現状を知るための手がかりをつかんでいただければと思います。また、講義は教員と受講者双方で創るものです。積極的な授業参加と授業環境保持を求めます。